

三種町長選挙

田川政幸氏 無投票再選

3期目のまちづくりへ



4月21日、任期満了に伴う三種町長選挙が告示され、現職の田川政幸氏（54歳・金光寺）が無投票で当選となりました。

町長室から

町長 田川 政幸

先月は三度目の町長選挙に挑ませていただきました。三回目の当選でしたが無投票ということもあり、改めて責任の重さに身の引き締まる思いであります。

急速に進む少子高齢化・人口減少をはじめ、我が町を取り巻く環境は依然厳しいことは十分承知しております。近年の感染症や物価高騰・気象変動による日常生活の変容、各種産業においては人材確保やエネルギー資源、原材料や資材調達的不安等、社会情勢が日々変化をしております。

そのような中で物価高騰対策をはじめ、基幹産業である農業や観光などの産業振興、町民の生活を守る住環境の整備や災害に強い安全なまちづくりのためのインフラ整備、将来を担う子どもたちへの教育の充実や子育て世代の負担を軽減し、三種町へ働く世代を定着させる雇用を創出すること、高齢者福祉の充実、自治会や団体からの各種要望等、山積みする課題に対し努力してまいりました。今後も初心を忘れることなく、現場をしっかりと見ること、町民のみならず、町民の声をよく聴くことに徹し、町民目線でやれることから始め、町民から信頼が得られよう職務に邁進してまいります。

三種町を含む能代山本地区においては、洋上風力発電事業の再公募や豊かな農地や森林資源を活かし、国の進めるカーボンニュートラル政策の先進地域となる可能性を秘めており、環境産業の振興も進めていかなければなりません。新たな産業が創出されることは、若者世代の働く場の選択肢が増えると同時に、人材の確保がこれまで以上に重要となつてまいります。将来を見据え、新しい産業のみならず、この地域でがんばっている地元企業の振興と継続のため、デジタル技術の活用や脱炭素政策を官民連携で取り組み、この地域の魅力を理解してもらうための教育にも取り組んでいかなければなりません。本年度開校した三種中学校に引き続き、小学校の統合について保護者や地域のみならず、学校関係者のご理解を得ながら計画を進めてまいります。

そして、この度当選された14人の町議会議員のみならず、は、お互いの立場を尊重しつつ、議論を交わしながら真に豊かな三種町創造のため、共に努力してまいりたいと思っております。

町民のみならず、住んでよかった、暮らしてよかったと思われるまちづくり、町外のみならず、みなさまの住みたい、暮らしたいと思える魅力あるまちづくりのため、みなさまのご理解、ご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

※町議会議員一般選挙の結果は、6月号に掲載します。